



一般社団法人「オープンコミュニティおいでよハウス」
(2022年4月設立) を訪問し、代表の藤島 薫さん (写真左)
にお話を伺いました。

埼玉県のHPにひきこもりの支援団体として掲載されていますが・・・

ひきこもりの方だけを対象としているわけではありません。

人生にはいろいろなことが起こります。友達や家族のこと、学校のこと、職場のこと、生き方のこと、心のこと等々です。そんな時、お茶やコーヒーなどを飲みながら、ゆっくり対話をして、重たかった気持ちが少し軽くてできる場所があるといいなと思い、この法人を立ち上げました。「おいでよハウス」は、指導・評価などはせず、お互いの声を尊重する対話の場を大切にしたいと考えています。



飯能市に設立したのは、お住まいが市内だからですか？

自然の中で暮らしたいという思いから飯能に3年前に越してきました。当初は秩父が候補だったのですが職場（東京福祉大学）のある池袋との中間地点の飯能にしました。住んでみて、豊かな自然と人の温かさ、そしてご縁が重なってこの地でやって行こうと思いました。

HPで拝見しましたが、フリースペース以外に、様々な取り組みもされていますね。

「対話（ダイアログ）の勉強会」フィンランド式・ しからない子育て「エンジョイ個育て」のワークショップ、不登校のお子さんをお持ちのお母さんが自由に語れる場である「お母さんのお茶会」、不登校の子どもを対象としたプログラム「PONTE」などをしています。今後は更に不登校やひきこもりの方のプログラムや支援者が元気になれるような交流と学びの場なども展開していきます。



玄関先に掛けてある絵（写真右）の説明もいただきました。

理事をされている須田修輔さん（南飯能病院）と

佐藤智恵美さん（にこにこハウス）の3人で将来はこんな

「おいでよハウス」にしたいとそれぞれが描いたスケッチをもとに、プロの画家の方が描いて下さったとのこと。数年前に「聞く力」という本がベストセラーとなりましたが、藤島さんは、まさにそんな感じの方。安心感や自尊感を得られる空間が居場所と呼ばれるようになった昨今、そんなスペースが市内に在ることは喜ばしいことと思います。

一般社団法人オープンコミュニティおいでよハウス

〒357-0037 飯能市稲荷町9-15 フォーブル岩沢102

メール:oideyohouse2022@gmail.com

ホームページ：<http://open-community-oidoyo-house.com>



おいでよフリースペース

【利用日】 毎週火曜日・金曜日 10時～16時、第1・3金曜日 18時～21時

【利用料】 500円

* 開く曜日は変更する場合もありますのでHPで確認ください。

* 駐車場はございませんので、お近くのコインパークをご利用ください。